

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりなき緊張感

考えよう柏の防災
Ka・Ka・Bo

印刷発注：

住民配布（白黒） _____ 枚

住民回覧（白黒） _____ 枚

掲示板（カラー） _____ 枚

（A4・A3／要ラミネート）

2025（令和7）年2月15日／第102号

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう！

風早北部地域ふるさと協議会

14年前の東日本大震災が発生したのは 北国でまだ粉雪が舞う季節でした ライフラインが震災で寸断し、普及の見通し がたたない中、あなたはどうか対処しますか？



寒さで体力が奪われ、それは感染症の発病や「死」が自分や家族の目の前に迫ってくることに直結します。昨年1月1日発生 of 能登地震は、人口が比較的少ない地方での被災でしたが、首都直下地震では、多くの被災人口が生まれ、おそらく柏市外からの支援はほとんど期待できないことが想定されます。

是非、寒い季節に一切の「暖」を取る手段に限られる、無くなってしまふことを仮想し、臨死を決して体験しないよう各世帯でしっかり備えましょう。

本紙面では、電気、ガス、化石燃料（灯油等）がいっさい手に入らないような最悪の事態を想定し、その中で「暖を保つ」をテーマに、各家庭での「自助」につき案内します。仮にこれを全くやっとなければ、発災後にあなたの死はすぐ目の前に迫ると覚悟してください。以下は簡単に使えて役に立つ2大暖房器具です。

石油ストーブ

灯油を燃料にする石油ストーブは、コンセントからの電気は不要なので、停電時でも使用できます。

主に2タイプ、全方位360度に放熱する対流式（円筒状のもの）とストーブの前面に放熱する反射式（四角い形のもの）があります。対流式は10畳間以上の広めの部屋の中央に、反射式は8畳間程度までの部屋の壁際に置くのが効率よく暖房するコツです。いずれも天板が付いていて、ストーブの上でお湯を沸かしたり、簡単な煮炊きをしたりすることが可能です。燃焼時間はタンクの容量にもよりますが、概ね1回の給油で半日以上は連続燃焼します。

普段は使わず防災用として備える場合、灯油も買い置きしましょう。家庭用ポリタンクで灯油を保管すると1年程度で劣化することもあるので、灯

①